

日本痛風・尿酸核酸学会 学会誌投稿規定

(2025 年 6 月 5 日改訂)

1. 投稿資格 筆頭著者および責任著者は本学会会員に限ります。ただし本学会から寄稿を依頼した場合(総説等。推薦演題、一般演題は該当しない)はこの限りではありません。
 2. 論文の採否 原稿の採否は査読の上で編集委員会にて決定します。
 3. 発行 本誌は、年2回の発行を原則とします。ただし、原稿はいつでも受け付けます。
 4. 論文の種類 論文の種類は、痛風、尿酸、核酸代謝に関連する原著、総説、症例、短報、Communication、その他とします。すでに他誌に発表されたもの、投稿中のものは受け付けません。ただしプレプリント誌への投稿は認めます。「日本痛風・尿酸核酸学会総会」で発表されたものは積極的に掲載しますので、原則として発表後3ヵ月以内にまとめ、投稿して下さい。また一般の投稿も受け付けています。
- 原 著 和文原著の記載順序は、和文要約、緒言、方法(症例)、結果、考察、謝辞、COI(利益相反)、文献、英文要約の順とします。英文の場合は、和文要約をつける必要はありません。
- 体裁:①和文・英文 いずれにても受け付けます。原稿はすべて A4 サイズの用紙に和文の場合は、10,000 字以内、英文の場合は、4,000 ワード以内とします。なお、文字数は図、表、写真(1 点 400 字換算)を含め、作成原稿の論文タイトルから COI までとし、引用文献、英文抄録、サプリメンタルデータを含めません。
- ②和文論文には 250 ワード以内の英文抄録をつけて下さい。
- ③原稿には表紙を付け、表題、著者名(ふりがなをつける)、所属機関名、キーワード(5 個以内)(以上和文英文併記)、連絡先(責任著者名、住所、電話番号、FAX 番号、E-Mail アドレス)を表記して下さい。また、旧姓表示を希望される場合は、新姓と名前間に、旧姓を括弧書きにして挿入して下さい。
- 例:本郷(田中)花子
- ④サプリメンタルデータは PDF 形式のみとします。電子付録として掲載が可能です。
- ⑤一般公開されていない物質についてはその構造式を明記してください。
- 総 説 編集委員会より依頼の原稿を掲載するのを原則とします。但し、ご希望の題目がありましたら会員からの投稿も受け付けます。後者の場合は査読が行われます。体裁は原著に準じます。但し字数は 12,000 字以内とします。
- 症例・短報 原著論文の諸規定に従います。体裁も原著に準じます。但し字数は症例報告 5,000 字以内、短報 3,000 字以内とします。和文論文には 250 ワード以内の英文抄録をつけて下さい。主文が英文の論文には和文抄録は不要です。
- Communication 主にメディカルプロフェッショナル領域における研究および日常臨床において有益とみなされるものとします。字数は 3,000 字以内、英文なら 1500 ワード以内

とします。字数は図、表、写真 1 点 150 字換算、英文の場合 100 ワード換算とします。和文論文には英文抄録は不要です。主文が英文論文の場合和文抄録は不要です。

5. 投稿方法 投稿時には抄録、図、写真を付け下記のメールアドレスにお送り下さい。本文ファイル名は「筆頭著者名」、図表については「図 1」「表 2」などをファイル名としてお送り下さい。原則として本文・表は MS Word 形式、図は MS PowerPoint 形式としてください。尚これ以外のファイル形式(RTF、JPG など)をご希望の方は編集委員会までご連絡ください。また文字化け、色ずれ等の確認のために、原稿全体を PDF 化したデータも同時にお送り下さい。

※原稿送付先(電子データで下記のメールアドレス宛てにお送りください)

および編集上の問い合わせ先

一般社団法人日本痛風・尿酸核酸学会「痛風と尿酸・核酸」編集委員会

〒105-0012 東京都港区芝大門 2-12-3 芝柳生ビル 3 階

TEL: 050-1791-5409 E-Mail: htakeuti@tukaku.jp

※日本痛風・尿酸核酸学会への入会申し込みは

ホームページ(<http://www.tukaku.jp>)よりお申込み下さい。

受付次第、年会費の振込用紙をお送りします。

6. 論文記載の手引き

- a. 図表の表題および脚注(legend)については日本語と英語の併記にし、図表の中身については原則英語としてください。図はそのまま印刷製版できる明瞭なものとしてください。
- b. 引用文献の書き方は、次のようにして下さい。
 - a) 文献番号は引用順とし末尾文献表の番号を片括弧付けで右肩に記入して下さい。
 - b) 記載順:[雑 誌]著者名:表題、誌名 巻:始頁-終頁、発行年
[単行本]著者名:表題、書名、(編集者名)、発行所、始頁-終頁、発行年
 - c) 共著者が多数の場合は3名まで連記し(姓を先に)、あとは“他”“et al”を付します。
 - d) 外国雑誌の略称は Index Medicus に依ります。

例: 1) 花山花男:慢性関節リウマチにおける腎病変. リウマチ3:363-365, 1972.

2) Walker BR, Hoppe RC, Alexander F et al: Effect of triamteren on the renal clearance of calcium, magnesium, phosphate, and uric acid in man. Clin Pharmacol Ther 13:245-250, 1972.

3) Wyngaarden JB, Kelley WN: Production of Uric Acid in Primary Gout. Gout and Hyperuricemia, Grune & Stratton, pp133-148, 1976.

4) Seegmiller JE: Diseases of purine and pyrimidine metabolism. Duncan's Diseases of Metabolism, Bondy PK, Posenberg LE (eds), 7th ed. W.B. Saunders Company, Philadelphia, pp 655-656, 1974.

- c. 図や表は指定された場所に挿入するよう努力しますが、図や表が多いときは、指定通りにできなくなります。レイアウトは編集部におまかせ下さい。(図や表はできるだけ数を限定して下さい。)
- d. その他本誌の体裁を整えるために表示方法を統一することがありますのでご了承下さい。
例: 表のタイトルは表の上部に、図のタイトルは図の下部に置き、英文タイトルは次のようにします。

Table 1. Renal clearance of uric acid in normal subjects

Fig 1. SUA concentrations during purine-loading tests

例: 度量衡単位は次の活字体を使用し、省略記号(.)を付けません。

μL mL dL: μg mg g kg: nm mm cm: sec min hr: nM μM mM M: nmol μmol mmol mol

- e. 倫理規定については、ヘルシンキ宣言(1964 年、以後 1975 年東京、1983 年ベニス、1989 年香港、1996 年サマーセットウエスト、2000 年エジンバラ、2008 年ソウル、2013 年 フォルタ レザ各世界医師会総会にて修正)、人を対象とする医学研究に関する倫理指針(文部科学省・厚生労働省・経済産業省:令和 3 年 3 月 23 日告示、令和 5 年 3 月 27 日一部改正)、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針(文部科学省・厚生労働省・経済産業省:平成 25 年 2 月 8 日告示、平成 29 年 2 月 28 日一部改正)、調査研究における「疫学研究に関する倫理指針」(平成 14 年 6 月 17 日、平成 16 年 12 月 28 日全部改正、平成 17 年 6 月 29 日一部改正、平成 19 年 8 月 16 日全部改正、平成 20 年 12 月 1 日一部改正)、動物を対象とした研究での「実験動物の飼育及び保存並びに苦痛の軽減に関する基準」(平成 18 年 4 月 28 日告示、平成 25 年告示最終修正)などに則り、必要な場合、本文中にその旨明記して下さい。
- f. 臨床試験についての倫理委員会における承認については、施設内あるいは適切な公的機関による審査で承認される必要があります。承認の有無を本文中に明記して下さい。

7. 校 正 著者校正時、新たに文章を挿入したり、削除することは避けて下さい。

和文論文の英文抄録及び英語論文は編集部でも英文校閲を行います。英文校閲を既に行い、編集部による英文校閲を希望されない場合はその旨を論文採択後にお知らせ下さい。著者校正のみを行って頂きます。

8. 掲 載 料 無料とします。

9. 著 作 権 本誌に掲載された著作物の著作権(copyright)は、日本痛風・尿酸核酸学会に帰属します。本誌に掲載された著作物は、インターネット(学会ホームページ)で公開されます。本誌に掲載された著作物のうち、図表など一部を利用する際には編集委員長の許可を必要とし、転載利用許諾申請書を提出して頂きます。

他誌の図表の引用の場合は、必要に応じてその雑誌の引用許可をとり、図表にも明記してください。

転載が学術目的以外と判断された場合、雑誌および電子引用の許諾料は有料となり、その収入は日本痛風・尿酸核酸学会の収入とします。

10. 論文掲載における著者の COI 開示に関する申し合わせ

著者の COI 状態の開示は、発表論文の本文、謝辞の次に記載し、その後に引用文献を記載して下さい。COI 申告開示の時期は投稿時とします。所定の用紙は以

下のサイト [youshiki2.doc \(live.com\)](http://youshiki2.doc.live.com) からダウンロードして下さい。

COI 開示の仕方:

(1) COI 申告開示のない場合

記載例: 著者の COI (conflicts of interest) 開示: 本論文発表内容に関連して特に申告なし

(2) COI 申告開示のある場合

COI 申告開示: 報酬, 株式利益, 特許使用料, 講演料, 原稿料, 研究費・助成金, 寄付金, 寄付講座, 旅費・贈答品の順番にて, 著者名ごとに論文発表内容に関連し COI 状態 (項目ごとに基準額を超えている場合) にある企業・組織または団体名を記載する (基準額は [youshiki2.doc \(live.com\)](http://youshiki2.doc.live.com) 参考)

記載例:

著者の COI (conflicts of interest) 開示: 田中一郎; 講演料 (〇〇製薬, 〇〇製薬), 寄付金 (〇〇製薬, 〇〇製薬), 田中二郎; 講演料 (〇〇製薬), 研究費・助成金 (〇〇製薬), 寄付金 (〇〇薬品, 〇〇製薬), 田中三郎; 講演料 (〇〇製薬, 〇〇製薬), 寄付講座 (〇〇製薬), 旅費・贈答 (〇〇製薬)